

学んで高める自立の力 金融商品を選べますか



社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 (NACS)
このテキストは、**宝くじ**の普及宣伝事業として助成を受け作成されたものです。

はじめに

近ごろ、わが国では金融の自由化が進み、多様な金融商品が次々に銀行、証券会社などから販売されるようになりました。

また、インターネットを利用して金融取引をする人も多くなっています。

これらの動きによって、私たちがお金を運用する機会や方法は増えましたが、一方で運用に失敗する危険（リスク）が身近になったことも認識しなくてはなりません。

金融環境がめまぐるしく変化していく中、私たち(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会消費者提言特別委員会では、2001年4月の「金融商品販売法」施行直後から昨年までの8年間、金融商品のパンフレットの表示内容や金融機関の窓口での接客対応について調査活動を行い、その結果を関係省庁や業界団体に伝え、改善を求めてきました。

今回、これまでの調査活動の集大成としてこの冊子を作成いたしました。

「手持ちのお金を預けたいけれどどうしたらいいの?」と迷うことがあります。また、窓口で勧められた金融商品の「特徴はどんなこと?」など、知りたいこともあります。

そのような時はまず、自分のお金の運用目的、つまり「将来何に使うお金なのか」をしっかりと認識し、次に勧められた金融商品を「安全性」「流動性」「収益性」の3つの視点からご自身の運用目的に合っているかを確認することだと思います。

この冊子は金融商品を選ぶ前に、私たちが身につけておきたい知識や注意点などを、4人の登場人物を介してご紹介します。

前半は金融商品の基礎知識や注意点と代表的な3商品「定期預金」「外貨預金」「投資信託」をわかりやすく解説した入門編、後半は、各商品をさらに詳しく解説しています。

金融情勢によっては想像以上の損失を受ける事もあり、新たな契約をしないという選択もある事を心にとめてください。皆様の金融商品選択の一助としていただければ幸いです。

2009年12月

社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
消費者提言特別委員会



はじめに	P.2
大切な資産を自分にふさわしい方法で活かすには	P.4
金融商品を選ぶ前に、自分の希望を整理しよう	P.5
金融商品の特徴がわかる「安全性」「流動性」「収益性」	P.6
さっそく聞いてみよう! どんな金融商品があるの?	P.7
比べてみよう『定期預金』『外貨預金』『投資信託』	P.8~9
金融商品契約の前に、まずはパンフレットを読み解こう	P.10~11
契約の前に必ず、パンフレットでチェックしよう	P.12
契約前には、冷静な判断を	P.13
知っておきたい定期預金の基礎知識	P.14~15
定期預金チェックシート	P.15
知っておきたい外貨預金の基礎知識	P.16~19
パンフレットの見方	P.17
外貨預金チェックシート	P.18
インターネットバンキング	P.19
知っておきたい投資信託の基礎知識	P.20~27
パンフレットの要検討項目	P.25
目論見書	P.26
投資信託チェックシート	P.27
商品選びを慎重に!	P.28~29
索引	P.30
金融に関するお問合せ・相談窓口	P.31

